

身の回りで起こり得る災害シナリオと被害の様相③ ～首都直下地震が発生すると…（避難所での避難生活）～

※ 被害の様相は一つの想定として作成したものであり、実際の災害時に、記載した被害の様相どおりの事象が発生するものではないことに留意が必要

想定条件

マグニチュード7.3/冬/18時/風速8m/s

避難所をとりまく様相

電力・通信

飲食・物資

トイレ・衛生

発災直後～1日後

自宅が揺れに伴い損傷を受け、ライフラインも不通になったため、避難所へ避難する。



- ▼避難者に加え帰宅困難者も避難所に殺到し、収容力を越える事態が発生
- ▼停電や通信の途絶等により、**避難者数の把握や安否確認、必要な物資の把握が困難化**
- ▼住民同士のつながりが希薄な地域では、助け合いが進まず、**避難所の運営等が混乱**するおそれ

3日後

- ▼在宅避難者の家庭内備蓄が枯渇し、**時間経過とともに避難所への避難者が増加**
- ▼必要なスペースや物資の確保等のケアが行き渡らず**避難者のストレスが増加**
- ▼ごみ・し尿処理収集の遅れにより、生活ごみやし尿が回収されず**避難所衛生状態が急速に悪化**
- ▼過密やプライバシー欠如、劣悪な衛生環境等を忌避し、**屋外に避難する避難者が発生**

1週間後

- ▼高齢者や既往症を持つ人等が、**慣れない環境での生活により病状が悪化**する可能性
- ▼プライバシー不足や生活ルール、ペット等に関する**トラブル増加**
- ▼避難所へ避難していた避難者が、自宅等へ**戻り始める**
- ▼道路寸断や交通機関の状況の違い等により、**支援物資やボランティアの供給にばらつきが発生**



1か月後

- ▼高齢者や既往症を持つ人などが、**慣れない環境での生活により病状が悪化**する可能性
- ▼避難者、特に外国人など、**生活習慣や文化等が異なる人たちの精神的負担が増大**
- ▼ライフライン復旧や交通機関再開に伴い、避難者が自宅や親戚・知人宅、応急仮設住宅等に移り、**避難者数が減少**
- ▼自宅や他の避難先等へ**移動した避難者の所在把握が困難化**

- ▼**スマートフォン等のバッテリーが切れ**、家族との連絡等が困難化
- ▼多くの携帯基地局で**非常用電源が枯渇し、不通地域がさらに拡大**
- ▼利用可能地域でも輻輳により、携帯電話の通話が**つながりにくくなる**
- ▼メール、SNS等の**大幅な遅配等が発生**

- ▼発電機の燃料が枯渇した避難所等では、テレビやスマートフォンによる**情報収集や、照明、空調等の利用が困難化**



- ▼計画停電が実施される場合、基地局の停波等により、さらなる**通信障害が発生**する可能性

- ▼停電により**空調が利用できず、熱中症や脱水症状**になったり、寒さから**風邪をひく等、体調を崩す可能性**



- ▼備蓄により飲用水が確保されるが**給水車による給水は限定的**
- ▼臨時の避難所等を把握できず、**食料や救援物資等が配給されない事態が発生**
- ▼避難所外避難者等が飲食料を取りに訪れるため、**避難所物資が早期に枯渇**する可能性

- ▼道路被害や渋滞等により、**必要なタイミングで必要量の物資を供給することが困難化**
- ▼段ボールベッド等、要配慮者の避難所生活環境改善に資する**物資が不足**



- ▼必要とする情報や物資等が**変化・多様化し、行政が避難者のニーズに対応しきれなくなる**



- ▼物資不足が長期化した場合、**略奪や窃盗など、治安の悪化を招く可能性**

- ▼管理等が適切に行われず、**避難所や仮設トイレの衛生環境が急速に悪化**する可能性
- ▼特に夏季においては**感染症の発生につながる可能性**
- ▼汲み取り式のトイレでは、**バキュームカーの不足等で早期に使用が困難化**



- ▼燃料が枯渇した場合、**非常用電源で機能していた水洗トイレが機能を停止し、使用困難化**



- ▼衛生環境が悪化した場合に、インフルエンザ、新型コロナウイルス、ノロウイルス等の**感染症が蔓延**する可能性

- ▼清掃が行き届かず、ほこりが舞うことによって**気管支炎を発症し、特に喘息等の既往症を有する人は症状が悪化する可能性**



◆ 被害が甚大な地域での避難所生活は、発災直後の混乱のみならず、電力・通信、飲食・物資、トイレ・衛生など、様々な課題が発生し、時間を追うことに多様化